★ナースになりたい人、復職希望ナースへ
ナース★ワゴンプラス
勤医協中央病院看護部の取り組みを伝えるミニ情報紙

2017年 10月31日 No.55

発行
勤医協中央病院看護部
〒007-8505
札幌市東区東苗穂5条1丁目9番1号
TEL:011-782-9111(代表)
E-mail:s-kango@kin-ikyo-chuo.jp

勤医協中央病院 災害訓練学習講演会

災害の基本 DMATとの協働

災害医療の体制と心構えを学びました



2017年9月29日（金）
勤医協中央病院2階 みなくるA
主催：勤医協中央病院 防災委員会
参加者：55人

2017年10月21日に当院で実施する災害訓練が北海道DMATとの協働で行われることから、「DMATの活動や役割」などを学ぶ講習会を開催。講師には、東日本大震災で手稲渓仁会病院のDMAT隊員を職場から24時間後方支援する役割を担うなど、災害看護の分野で活躍している医療法人渓仁会定山渓病院の副看護部長・田中かおり氏を招きました。

限られた資源で多くの命を助けるために

DMAT（災害医療派遣チーム）は、災害急性期に医療活動ができるよう専門的な研修・訓練を受けた隊員によるチームで、田中氏は2011年の東日本大震災時に手稲渓仁会病院DMATの隊員として出動しています。

講演前半は、過去に日本で起きた大規模災害を振り返りながら、災害医療の目的や、平時医療と災害医療の違い、災害サイクルによって変わる医療ニーズ、災害対応の7つの基本原則「CSCATTT」などについて解説。後半は、東日本大震災での実際のDMATの動きを紹介し、災害拠点病院とDMATが協働する際には、「お互いの役割を明確にした防災マニュアルが必要」とアドバイスしました。





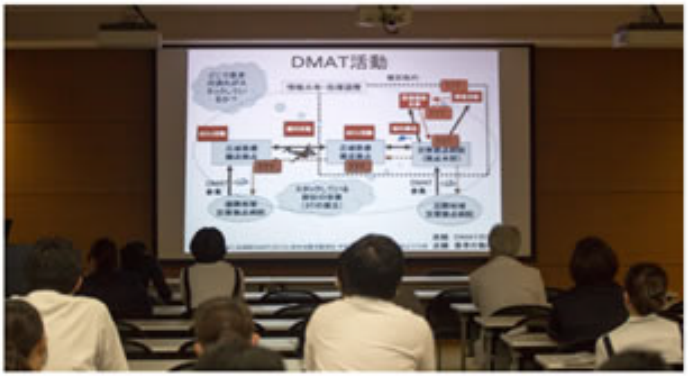
講師 医療法人渓仁会 定山渓病院
副看護部長 田中 かおり氏
全国基幹災害拠点病院等災害医療従事者研修修了者

手稲渓仁会病院のICU、心臓センター、消化器センター、救急救命センターでの勤務を経て、2008年から手稲渓仁会病院の副看護部長、2013年から現職。札幌保健医療大学で災害看護の非常勤講師も務める。









**講演の内容は
ナースワゴン＋α No.55で紹介しています**